

平成 22 年度第 1 回富山県環境審議会廃棄物専門部会 議事録

1 日時

平成 22 年 9 月 9 日（木）10 時から 12 時まで

2 場所

富山県民会館 704 号室

3 出席者

委員：竹内^(茂)専門部会長、尾畑委員、竹内^(章)委員、荒川特別委員（代理：田村課長補佐）、
岩田専門員、園専門員、丁子専門員

事務局：堀生活環境文化部次長、新庄環境政策課長 他

4 内容及び結果

(1) 専門部会長の職務代理者の選任

専門部会長が富山県環境基本条例第 40 条第 7 項の規定に基づき専門部会長の職務代理者として、丁子専門員を指名した。

(2) 議事

① 富山県廃棄物処理計画（とやま廃棄物プラン）の改定について（諮問）

事務局が、資料 1-1、資料 1-2 に基づき、富山県廃棄物処理計画の改定について説明した後、以下のとおり質疑等が行われた。

② 富山県における廃棄物の現状と課題について（報告）

事務局が、資料 2-1、資料 2-2 に基づき、富山県における廃棄物の現状と課題について報告した後、以下のとおり質疑等が行われた。

なお、今回の資料で示した改正のポイントや課題・問題点、さらには今回の委員からの指摘事項等を勘案しながら、今後改定作業を進めていくこととされた。

③ 富山県廃棄物処理計画改定スケジュール（案）について

事務局が、資料 3-1、資料 3-2 に基づき、富山県廃棄物処理計画改定スケジュールについて説明した後、以下のとおり質疑等が行われた。

なお、改定の全体スケジュールについては、事務局案のとおり了承された。また、事業者へのヒアリングについては、委員の意見等を踏まえたうえで、事務局の計画どおり進めることで併せて了承された。

5 主な意見、質疑応答

(1) 議事①・②関係

[岩田専門員]

産業廃棄物については、現行計画では発生量というもので捕らえていたが、今回、資料 2-2 では排出量という表現になっている。発生量と排出量の違いも含めて確認させていただきたい。

また、資料 2-1 では 22 年度の再生利用量の目標値が 8 万 8 千トンになっているが、資料 1-2 では 10 万 6 千トンとなっている。誤りではないか。

さらに、資料 1-2 の次期処理計画のポイント「①廃棄物の適正な処理の確保」で、事業所外保管の届出制とある。これは本年 5 月に改正された廃棄物処理法を先取りしているものと思うが、これ以外に改正法を先取りしたものがどれくらいあるのか。

[事務局]

国では、産業廃棄物に関して、発生量から有価物量を除いたものを排出量として統計的に取りまとめており、今回は国の統計の分類に合わせて整理した。

一般廃棄物の再生利用量の目標値については、県の総合計画が策定（19 年 10 月）

された際に見直しを行ったことから、資料2-1では新たに見直した目標値を記述した。

今回の計画改定に当たっては、総合計画との調整を図りながら進めていくほか、“計画改定のポイント”としてとりまとめたとおり、現在、国の方で進められている法改正の内容をも取り込んで改定作業を進めてまいりたいと考えている。

[園専門員]

資料 2-1 で、本県における市町村のごみ処理コストが増加傾向にあるということだが、その原因をどのように分析しているのか。

[事務局]

現在調査中であり、詳細については、次回の部会で報告したい。

[岩田専門員]

一般廃棄物の総排出量に占める事業系の混入割合がどれくらい分かれば教えて欲しい。

[事務局]

市町村ごとに若干変動はあるが、概ね3割から4割程度である。

[竹内委員]

資料 2-1 で、ごみ総排出量が平成 19 年度以降減ってきているが、この理由を教えてください。

[事務局]

各市町村が行っている、住民に対するごみ減量化の普及啓発や環境教育などの成果が現われていることを期待しているが、昨今の経済状況をも反映したものではないかと推定している。

[尾畑委員]

県で今年度から実施されている使用済小型家電等のリサイクル推進モデル事業について、これからこういう事業をどんどん推進してもらいたいと思う。

[事務局]

循環型社会の形成という意味では、環境負荷の掛かる最終処分量を減少させなければいけない。使用済小家電等については、その残さのほとんどが不燃物として直接埋め立てられている。

また、小型家電等というものには、非常に希少な金属等が含まれている。こうしたことから、県では秋以降、土曜日や日曜日にも持っていくことができる回収ステーションを設置して使用済の小型家電等を県内で拠点的に回収し、これを民間の処理施設を活用して高度処理やリサイクルを行うことで、市町村の最終処分場への負荷を低減しつつ、再資源化も行う事業を市町村と連携しながらスタートすることとしている。

[尾畑委員]

県として実施するということか。

[事務局]

一般廃棄物の統括処理責任は市町村にあるため、実施主体は市町村であり、県はそういう市町村を財政的・技術的に支援するという立場である。

[竹内専門部会長]

回収ステーションを設置する市町村に対して県として補助金といった形で支援するということか。

[事務局]

ご指摘どおりであり、具体的には、回収ステーション設置に要する費用に対し、財政的な支援を行うこととしている。

[田村課長補佐]

回収ステーションからの持ち去りについて何か対策を考えているのか。

[事務局]

回収ステーションには、持ち込まれたものの選別や持ち去り対策などの観点から、人員を確保・配置すると聞いている。

[丁子専門員]

資料 2-1 と 2-2 を見ると、個々には、一般廃棄物の方が目標に届かないなど課題が多く、産業廃棄物については課題はあるにしてもいい線をいっているのではないかといった印象を受けるが、一般廃棄物と産業廃棄物の両方を合わせた全体的な考え方として、今後どのような対策にどう力を入れていくのかといったものがあれば教えていただきたい。

[事務局]

一般廃棄物については市町村、産業廃棄物については事業者といったプレイヤーの話を良く聞き、実態を踏まえながら個別的・全体的なアプローチについて考えてまいりたい。

特にリサイクルループをしっかりと考えた“地域循環圏”の視点を盛り込んでいきたいと考えている。例えば、生ごみの場合、水産加工業者から排出される食品残さは産業廃棄物、旅館や食堂、家庭から排出されるものは一般廃棄物と位置付けられているが、これらを併せて燃料化や堆肥化を行うことなども検討していく必要があると考えている。

[竹内専門部会長]

そういう点は今度の新たな計画の中で、これまでの経験を踏まえてどう推進していくかということを検討して入れていかなければならないであろう。

(2) 議事③関係

[竹内専門部会長]

ヒアリング対象候補の事業者というのは、排出量の多いところを選んでいるのか。

[事務局]

事業者については、排出量や最終処分量の多いところを中心に提示した。この 20 社の排出量の県内に占める割合は約 40%、また最終処分量も約 40%となっている。

[田村課長補佐]

20 社の中で廃プラスチック類の関係者は 1 社だけだが、ここだけが最終処分量が多いという意味なのか。いろいろな事業者と話し合っただけという説明があったが、そういう意味では、ヒアリング対象はこの 1 社だけでいいのか。

[事務局]

廃プラスチック類については、最終処分量の多い上位 5 社でも合わせて 12% ぐらいしか占めておらず、小規模な事業者が多いことから、その実態については別の観点で把握しなければいけないと考えている。今後工夫させていただきたい。

[丁子専門員]

各事業者からヒアリングで聞き出したいのはおそらく課題や排出抑制等の阻害要因ではないかと思うが、今まで聞き古したような回答が出てくるだけではないかと予測される。そうではなく、もっと抜本的な要因を引き出さないと、これからは大きな削減やいろんな改善に繋がらないのではないかと。もうひとつは、やる気も大きな問題である。やる気はなかなか事業者は言わないと思うので、そこを上手に聞き出すような

項目立てというものを工夫されると、意外と浮かび上がってくるのではないかと思うので、少し検討されてはどうか。

[事務局]

委員ご指摘のことについて盛り込んでいきたいと思う。

[園専門員]

資料 1-2 で、主な課題「③PCB 廃棄物等の処理困難物の適正処理の推進」というものがあるが、今後事業者ヒアリングの中で、これについても意識したような調査項目を反映させるのか。

[事務局]

今回のヒアリングにおいては、PCB をあらかじめターゲットとはしない。ただ、ヒアリングの中で PCB の話題が出れば、それについては特に聞かないということではなく、一般的な話の中で処理状況について聞くこともあるかもしれないという整理にさせていただきたい。

[尾畑委員]

中小企業にひとつひとつ話を聞いてくるわけにもいかないなので、例えば、プラスチックに関する協会など、そういう業界団体にも少し聞いていただければよいのではないか。

[事務局]

プラスチック工業会があるので、そういったところにも聞いてみたいと思う。

[岩田専門員]

要望であるが、セメント業界へのヒアリングも実施されるので、その際、廃石膏ボードの取扱いについても併せて協議していただきたい。廃石膏ボードについては、セメント会社は受け入れておらず、どういう条件であれば受入可能なのかが分かると、県内の廃石膏ボードについては非常に明るい話になる。

[事務局]

ヒアリングの際に確認する。